

(特非) 海と大地と国産食糧を守る会

島嶼地域の自然環境を活用した 不登校生徒等への総合環境教育

入門助成

1年目

実践



将来に思いをはせてブナの植樹活動

参加者

7人

活動期間

5日間

活動の全体目標に
対する達成度

90%

課題

不登校生徒は全国で17万人いる。そこで不登校生徒が総合環境教育活動を通じて、心身の甦りの機会とし、さらには自然環境教育を地域振興施策の一助としたい。

目標

参加者が明るい希望を抱き、周囲の人たちが心身の変化に気づかされるとともに、生活や価値観の幅を拡大でき、将来の目標の選択肢が増える。また、他島にも知らせることで総合環境教育活動が普及する。

活動内容

環境教育や不登校に関する取材や資料収集を行い、参加者を7名募集し、5日間の総合環境教育を神津島で実施した。また、神津島の自然に関する冊子(B5・16P)を作成、教材とした。のちに活動状況や資料収集した一部を報告書(A4・107P)とした。報告書は神津村役場や他島関係者にも配布し、その普及拡大を図った。神津島の関係機関に本活動の事前説明と事後報告を行った。



濃霧の中を頑張って天上山に登攀成功

達成できなかったこと

堅実な目標としたため、全て達成できた。反省点としては、当初計画のプログラムなどの消化にこだわりすぎ、参加者の心のケアにもっと触れるべきであった。

今後の展望

総合環境教育を不登校生徒や社会福祉者などに活用することが時代的趨勢にある。そうしたことを実践したい。

成果と工夫した ポイント



成果

当初設定した指標は全て達成できた。参加者側の6割、受入れ側の7割以上が賛同してくれた。冊子(B5・16P)を300部、報告書(A4・107P)を100部作成し、関係機関に配布し、好評を得た。

工夫

総合監督者の指導力で、スタッフの自主性と合議制が上手に連動できた。結果、事業が円滑、安全に終了した。